

マリレジャー安全レポート

第七管区海上保安本部
マリレジャー安全推進室
TEL 093-321-2931
E-mail:kyuunan7-j7vj2@kaiho.mlit.go.jp

第57号(平成22年4月)



つければ 浮くぞう
ライフジャケット

ライフジャケット着用推進会議

平成22年3月
プレジャーボート等
海難発生隻数

合計	11隻
衝突	1
乗揚	1
転覆	1
浸水	1
推進器障害	0
舵障害	0
機関故障	3
火災	0
爆発	0
行方不明	0
運航阻害	3
安全阻害	0
その他	1

マリレジャーに伴う
海浜事故者数

合計	7人(4人)
遊泳中	0(0)
釣り中	6(3)
サーフィン中	0(0)
タレント中	0(0)
その他	1(1)

()内は死亡
・行方不明者数

磯釣り中に海中転落・付近漁船が救助!

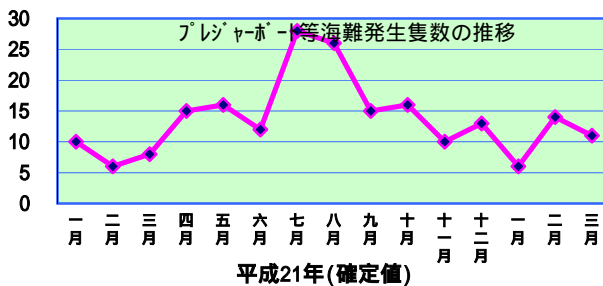
3月8日午前7時30分頃、大分県佐伯市所在の岩場において、磯釣り中のAさん(56才男性)が岩場を移動中に横から波を受けて海中転落する事故が発生しました。
同日午前6時30分頃、Aさんは、同行者のBさんとともに瀬渡船に乗船して大分県佐伯市の漁港を出港して磯場に一人で渡り、釣りを始めました。同行者のBさんもAさんの磯場から約200メートル離れた小島に渡り、釣りを始めました。
午前7時30分頃、Aさんは釣れたイカをタモ網ですくい岩場に置いてあるクーラーボックスまで移動している途中に横から磯波を受けて海中転落したものです。
当時、Aさんはライフジャケットを着用しており海中転落後、意識が朦朧となりながらも海面に浮いていたところを、建網揚網作業中の地元の漁師さんに発見救助されました。この他にも釣り中の事故が、3月中に5件発生しています。

～ 事故からの教訓 ～

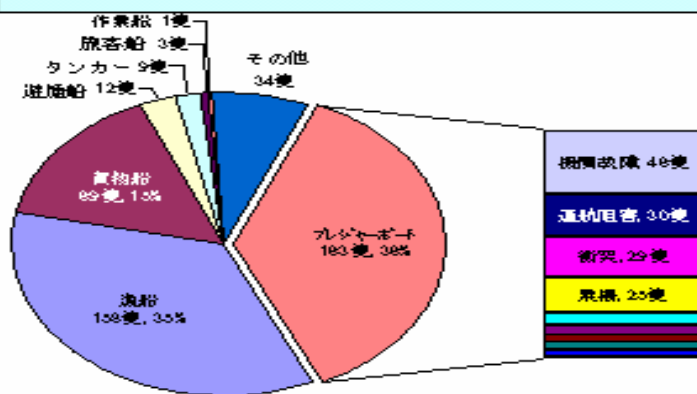
マリレジャー(磯釣り)を楽しむときは、
ライフジャケットを必ず着用しましょう。
磯場や小島に一人で上陸して単独での釣りは止めましょう。
防水携帯電話や防水パックに入れた携帯電話等による連絡手段を確保しましょう。
突然の大波に注意しましょう。

～ 大切な命を自分で守る三つの基本 ～

ライフジャケットの常時着用
連絡手段の確保(防水型携帯電話の携行等)
118番の活用(海の事件・事故は局番なしの「118」)



ゴールデンウィークも間近です ～ 出港前点検をお忘れなく ～



平成21年の、第七管区海上保安本部管内における海難は449隻であり、そのうちプレジャーボートの海難発生数は163隻です。用途別では最多となっています。プレジャーボートの海難種類は、機関故障(整備不良に起因するもの)が最多となっています。

これからの季節、気象・海象も良くなり、海洋レジャー活動が活発化します。
出港前には機関の点検を万全にして、海難を起こさないように心がけて下さい。

なぜ、潮干狩りは春～夏頃が良いか？

七管区本部では、毎年、博多・苅田における潮干狩りに適した日とその日の干潮時刻・日没時刻などを記載した「潮干狩りカレンダー」を作成し、一般の方々に提供しているほか、電話による問い合わせにもお答えしています。

今回は、この潮干狩りに関する質問の中から「なぜ、潮干狩りは春～夏にかけて良くて、秋～冬にかけては良くないか?」、「潮干狩りのできる時間帯はどれ位か?」について解説します。

下記のグラフには、博多東浜における季節毎の代表的な大潮の日の潮汐曲線、満潮・干潮時刻と潮位、日出・日没時刻を示しています。

博多東浜では、1日に満潮と干潮が各2回ずつありますがその高さや時刻は、日によって、また季節などによっても違いがあります。春～夏の大潮の日には、昼過ぎから夕方にかけて約3～4時間程度潮干狩りを楽しむことができます。この季節は、気温・水温も上昇しており海辺での遊びにも好条件が揃っています。

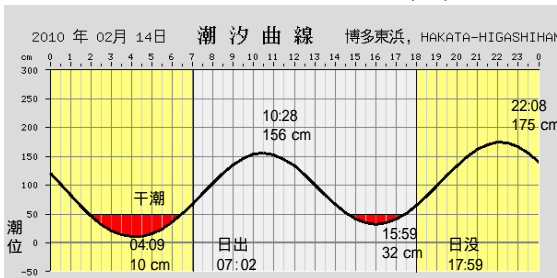
これとは反対に、秋～冬にかけては、潮の引きが大きい時間帯が夜中で、さらに気温・水温ともに低く、潮干狩りには適していません。

お出かけの際は、天候等に留意するとともに、危険な場所へは立ち入らないなど、安全面に心がけましょう。

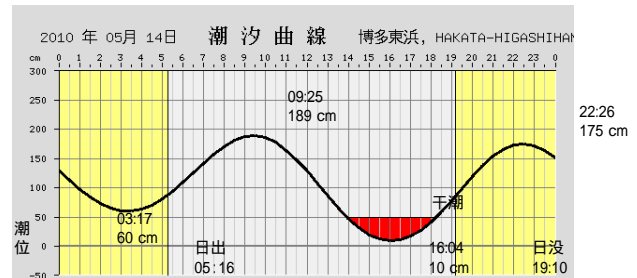
2010年「潮干狩りカレンダー」は、以下のアドレスを参照ください。

<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN7/shiohi/shiohi07.htm>

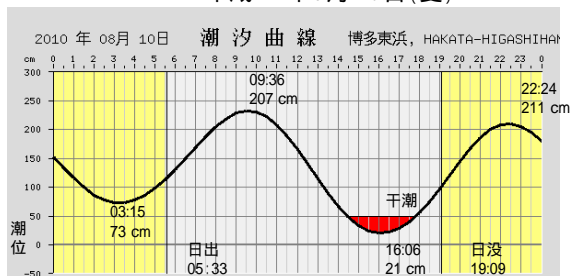
平成22年2月14日(冬)



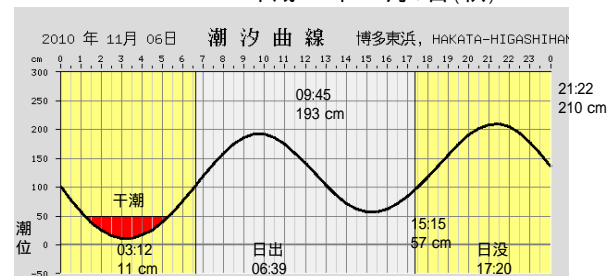
平成22年5月14日(春)



平成22年8月10日(夏)



平成22年11月6日(秋)



(博多の大潮の日の潮汐曲線。赤色の部分が潮干狩りに適した潮です。)